



石神井氷川神社でアート作品展示や各種体験イベント 「井のいち」で南牧村産加工品をPR!

第8回 井のいち

- 期日：5月20日(日)
- 場所：石神井氷川神社
- 主催：井のいち実行委員会 協賛：練馬区
- 内容：青果物や加工品販売・アート作品展示・Live・おはなし会・体験イベント等

■ 練馬区でこだわりの農産物や加工品を販売!

練馬区の石神井公園近くにある石神井氷川神社でアート・音楽・クラフト・食等の複合イベントである「井のいち」が開催されました。「井のいち」は、この地域で活動しているアーティストや店主が一堂に集まり、表現したりつながりが持てる場を作る目的で開催されています。当日は、硝子・ドライフラワー・木工・陶磁・盆栽等アート作品の販売、ステンシルとハニカムペーパーのワークショップ、Live、おはなし会やヨガ体験等様々なイベントが開催されました。

農産物や加工品の販売は、「野坂農園(練馬区で江戸東京野菜やヨーロッパ野菜等を栽培)」からニュージーランドスピナッチ・葉にんじん・ルバーブ・新じゃが等の青果物、「加藤農園(練馬区の江戸時代から残る畑でいちご・とうもろこし・さつまいも等を栽培)」からいちご(紅ほっぺ)・当農園で無農薬栽培されたオリーブリーフティ・ときがわブルワリーとのコラボ商品である贅沢いちごソーダ等 15 店舗からこだわりの農産物や加工品が販売されていました。

■ 「なんもく村のちょっとしたcafe」が南牧村をPR!

「なんもく村のちょっとしたcafe」(南牧村)の代表の加藤さんは、以前練馬区でパティシエをしていた縁で6年前からこのイベントに出店しています。加藤さんは、南牧村の豊かな自然と人のあたたかさに心を打たれ、2015年に南牧村の古民家を改装して「なんもく村のちょっとしたcafe」をオープンし、南牧村を中心とした群馬県産にこだわった旬の美味しい野菜や素材をふんだんに使ったしみじみ美味しいランチやケーキ等を提供しています。

当日は、「なんもく村のちょっとしたcafe」の看板商品であるカタクリのお話をモチーフにして生まれた「カタクリクッキー」、「はつみ商店(吉井町から南牧村に移住して南牧村産の野菜や果物を使用したピクルスやジャム等を販売)」の切り干し大根和ピクルス・大豆ピクルス・柚子ジャム、南牧村産のブルーベリージュース、練馬時代からの人気メニューである黒糖クッキー・オーガニックチョコチップクッキー等が販売され、都内で南牧村をPRしました。

加藤さんは、「これから夏に向けて、南牧村はとても良い時季です。南牧村の自然や空気、古民家がほっとできる場所となっているように感じます。南牧村の素材を使った美味しいものやジュース、ケーキでごゆっくりとお過ごしいただけたらと思います。今後もカフェが長く続いているように、スタッフやヨガ・フラダンス・ピラティス・アロマなど講師等の教室等より多くの方々に関わっていただきたいと考えています」と「なんもく村のちょっとしたcafe」についてコメントしていました。



「なんもく村のちょっとしたcafe」ブース



「なんもく村のちょっとしたcafe」：カタクリクッキー等



「はつみ商店」：切り干し大根和ピクルス等



「井のいち」の様子